

飛行機で生まれた赤ちゃん

- (1) トルクメニスタン航空のニューデリー行き国際線 TA405 便でぞっとするような事件が起きた。
- (2) 22 歳の女性が飛行機に搭乗してすぐに激しい腹痛に襲われた。
- (3) ただの空腹痛ではないようだった。
- (4) 彼女は洗面所まで歩くのがやっとだったので、トイレの隣の席の紳士がドアを開けてやった。
- (5) 彼女はすぐに腰を下ろすと、苦痛で悲鳴を上げ始めた。
- (6) 洗面所の近くにいた乗客らはショックを受け、気の毒な女性のことが心配になった。
- (7) 彼女は妙な、それでいてほっとしたような表情でトイレから出てきた。
- (8) 飛行機がインドに着陸すると、その女性は飛行機を立ち去り、人込みに紛れていった。
- (9) その後、飛行機の乗務員が頭を便器の穴につかえさせた赤ちゃんを発見した。
- (10) パニックに陥ったあの若い女性が、生まれたばかりの赤ちゃんをトイレに流そうとしたのだ。
- (11) すぐに赤ちゃんを助け出そうとしたが、顔はすでに真っ青になっていて、便器から引き出したときにはもう死んでいた。
- (12) 母親は逮捕され、殺人で起訴された。